国勢調査2025

特集

数字がつくるまちの未来 国勢調査の役割

私たちの暮らしと未来のために ――国勢調査にご協力を

令和7年は国勢調査が実施されます。国勢調査は、国内の全ての人と世帯を対象に5年に1度行われる、最も重要な統計調査です。集められたデータは、医療・福祉・教育・防災など、さまざまな行政サービスの計画や地域づくりに活用されます。

一方で、「国勢調査って何のためにあるの?」「自分には関係なさそう」と感じる人や、忙しくて回答する時間が取れないという人もいるかもしれません。また、自分や家族の個人情報が漏れないかと不安に思うこともあるのではないでしょうか。

今月の特集では、国勢調査とはどんなものなのか、回答した情報がどのように使われているのかといった、調査の役割や目的を詳しくご紹介します。さらに、実施スケジュールや、便利で簡単なインターネット回答などについてもお知らせします。

▼問い合わせ先＝令和7年国勢調査実施本部(シーパル大船渡内)
(☎0080・7398・9083、0080・7398・9089)

回答は義務？ 個人情報は漏れない？

総務省統計局のイメージキャラクター

国勢調査は「統計法」という法律に基づいて実施されており、**対象者は回答する義務があります。**報告を拒んだり、虚偽の報告をしたりした場合の罰則規定もあります。また、調査票の記入内容は厳重に守られるので、**個人情報が外部に漏れることは決してありません**のでご安心ください。

正確な統計を作成するために、皆さん一人ひとりのご協力が必要です。私たちの暮らしをより良くするための大切な調査ですので、回答にご協力をお願いします。

国勢調査って、どんなもの？

国勢調査は、第１回調査以来５年ごとに行われており、今年の調査は通算22回目となります。

調査は統計法に基づいて実施され、日本に住んでいる全ての人と世帯が対象です。10月１日現在の世帯の人数、出生年月、現在のお住まいの居住期間、仕事や就学の状況などの17項目を調査します。

――国勢調査の歴史

日本で初めて調査が実施されたのは、1920(大正９)年のこと。国内では明治時代の終わり頃から人口が急速に増えて都市化が進み、国の現状を把握する必要が高まっていました。当時の調査では、国内の総人口は約5,600万人と確認されています。

その後、国勢調査は戦時中も途絶えることがなく実施され、前回2020年の調査で節目となる100周年を迎えました。

調査の結果は、さまざまな場面で活用されます

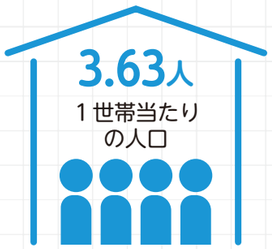
国勢調査の結果は、人口や年齢を基に少子高齢化や医療･福祉に関する施策のほか、災害時に必要な物資の備蓄量の算出基礎などにも活用されます。

企業でも調査データを活用！

多くの企業では、商品やサービスをどこで提供するかを考える際に国勢調査のデータを活用しています。たとえば、お店をどこに出すかを決めるときなど、私たちの身近なところでもこの調査が役立っているのです。

統計データから見えてくる　大船渡の昔と今

昭和55年(1980)
13,814世帯

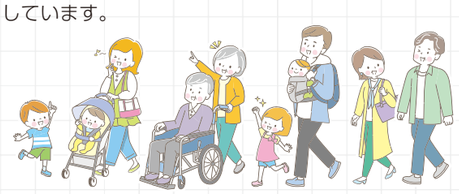


令和５年(2023)
14,809世帯

(各年10月１日現在)

区　分	人　口		
	総　数	男	女
昭和55年	50,132人	24,479人	25,653人
令和５年	32,453人	15,602人	16,851人

※昭和55年の各数値は、大船渡市と旧三陸町の合計で計算しています。



大船渡を〝知る〟ための大切な調査

――指導員さんに聞きました！

国勢調査を行う上で欠かせないのが、調査員や指導員の皆さんです。市でも、たくさんの人に協力していただきながら調査を行っています。今回、長年にわたり国勢調査で指導員を務める新沼孝子（にいぬまたかこ）さん（大船渡町在住）にインタビューさせていただきました。

新沼孝子さん

―本日はどうぞよろしくお願いします。初めに、新沼さんが統計調査に関わるようになったきっかけを教えてください。

私は大船渡出身ではなく、仙台からこちらに嫁いできました。市役所で働いていた知人に紹介されて調査員を始めたのがきっかけです。地域のことを知るチャンスだと思い、その後15年ほど、さまざまな統計調査で調査員を務めてきました。

―今回の国勢調査では、どのような役割を担当されますか？

大船渡町の指導員を担当します。

―「調査員」と「指導員」には、どのような役割の違いがありますか？

調査員は、各世帯を訪問して調査を依頼したり、調査書類を回収したりします。一方、私たち指導員は、市の職員と連携しながら、提出された調査書類の確認を行います。必要に応じて調査員と電話でやり取りし、進め方のアドバイスなども行っています。

―審査の際には、どのような点をチェックしていますか？

調査票の記入方法が正しいか、回答に漏れがないかなどを確認します。不備があれば、その内容に応じて調査員に指導を行います。そのためには、地域の事情をある程度理解している必要があり、何らかの統計調査で調査員の経験がないと難しい部分もありますね。

これまで他の統計調査で何度も調査員を務めた経験を生かして、指導員として関わっています。

―実際に担当していて、大変だったことや「やっていてよかった」と感じたことがあれば教えてください。

大変だったと感じたことは、あまりありません。周りの人が気にかけてくださるおかげで、本当に人に恵まれているなと感じています。調査員の皆さんや地域の人とお話する機会も多く、調査を通じて地元のことを知る良いきっかけになっています。

―長年、指導員を続けてこられた秘訣は何でしょうか？

やはり、人との会話を大切にすることですね。

ただ指導するだけでなく、調査員にはねぎらいの言葉をかけたり、調査に出向いた時には、地域の人とお話したりと、人とのつながりを意識しています。

―「これは知っておいてほしい」という国勢調査のポイントがあれば教えてください。

身近な例でいうと「人口の変化」でしょうか。以前の調査と比べて、子どもの数がかなり減っていると感じることが多くなりました。こうした人口の動きを知るための基礎となるのが、国勢調査です。ぜひ、その役割を知っていただけたらと思います。

―最後に、市民の皆さんへメッセージをお願いします。

国勢調査は、地域の人口や暮らしの変化を把握するために欠かせない大切な調査です。

これからの大船渡を考えるためにも、皆さん一人一人のご協力をお願いします。

―新沼さん、本日は貴重なお話をありがとうございました。

答えることが、まちの未来につながります

９月中旬から、調査員が担当地区を歩いて地図を作成します。地区内の住宅の状況を確認後、９月20日～30日の間に各世帯を訪問し、調査票をお渡しします。この際、次の内容を聞き取りますので、ご協力をお願いします。

▶確認する内容
①世帯主または代表者の氏名
②世帯の住所
③世帯の人数・性別
④調査の回答方法（インターネット、郵送、直接提出のいずれか）

▶回答期限＝10月８日（水）

回答期間：9月20日㈯～10月8日㈬

回答は簡単・便利なインターネットで！

平成27年の調査からインターネット回答が導入されています。パソコンやスマートフォンをお持ちの人は、ぜひご利用ください！

1 アクセスする

調査員が配布する調査書類を用意し、インターネット環境のあるパソコンやスマートフォンから回答サイトにアクセスします。

2 ログインする

調査書類内の「インターネット回答依頼書」に記載されている「ログインID」と「アクセスキー」で、ログインしてください。

◎スマホから簡単ログイン！

調査書類の二次元コードを読み取れば、ログインIDとアクセスキーの入力が不要です。

国勢調査の詳細は、特設サイトをご覧ください。

国勢調査2025
キャンペーンサイト

3 回答する

画面の案内に従って回答します。回答時間は、世帯員１人につき約10分。

▶調査員が身に着けているもの

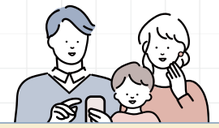
調査員証（顔写真付き）

調査用の手提げ袋

調査票に記入して提出することも可能です

調査員が配布する調査書類に「調査票」が入っていますので、必要事項を記入して提出してください。記入が完了した調査票は返信用封筒に入れて、ポストに投函、または回収に訪問した調査員に直接手渡しで提出願います。

国勢調査2025
かんたん便利なインターネット回答で！
回答サイトはこちらから ▶ 国勢調査オンライン
https://www.e-kokusei.go.jp/



調査スケジュール

９月20日㈯～30日㈫
調査員が訪問し、全ての世帯に調査票を配布
※複数回訪問しても不在の場合、調査票などを郵便受けに投函することがあります。

いずれかの方法で回答

- **９月20日㈯～10月８日㈬**：インターネットで回答
- 調査票に記入して回答 → 10月１日㈬～８日㈬：調査員に提出 / ポストに投函

→ 回答完了！